

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
医学用語論				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>英語力に強い診療情報管理士を育成することを目標とする。診療情報管理士試験(3年生後期の2月頃)の医学関連出題の1割を占める医学英語に正答できる単語力に加え、医学英語検定4級にも合格できる読解力を目標とする。全ての語学の学習がそうであるように、スペル、発音を記憶する努力が求められる。とりわけ医療現場では略語が頻用されるのでそうした略語のフルスペルを記憶しなければならない。記憶と理解を助けるため単語の語源を重視する。</p> <p>医学英語の読解力を養成するため、毎回国疾病管理センター(CDC)がネットに掲載する週報[https://www.cdc.gov/mmwr/]を宿題として配布し、次回までに読解してくる。授業開始時に毎回小テストを行い、前回習得した単語と、宿題として配布された文章に関する問題に回答する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・国際疾病分類(ICD)に含まれる傷病名を和文英文両方で理解・記憶する ・診療報酬点数表に記載された診療行為を英文で表現できる ・医療分野で頻用されるアルファベットの略語のフルスペルと意味を理解する ・医師が診療録に記載する内容を和文のみならず英文でも理解できる ・医師と患者の英語でのやりとりを理解できる 					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	循環器(11～15頁)				
第 2 回	呼吸器(16～21頁)				
第 3 回	消化器(21～30頁)				
第 4 回	泌尿器生殖器(30～36頁)				
第 5 回	代謝・内分泌(36～42頁)				
第 6 回	神経, 感覚器(43～51頁)				
第 7 回	骨格系(52～56頁)				
第 8 回	皮膚・感染・寄生虫(57～61頁)				
第 9 回	精神医学(61～65頁)				
第 10 回	乳腺, 妊娠・分娩・周産期(65～67頁)				
第 11 回	医療制度(44～61頁, 医学・医療(68～71頁)				
第 12 回	医療制度(44～61頁, 医療職, 医療機関・施設(72～74頁)				
第 13 回	医療制度(44～61頁, 医療行為, 業務(75～79頁)				
第 14 回	医療制度(44～61頁, 疾病, 病態(79～82頁)				
第 15 回	医療制度(44～61頁, 診療情報管理・診療記録(83～85頁)				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
なし					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
毎回の小テスト (50%) 期末テスト (50%)	期末試験を行う(持ち込み不可) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理Ⅱ 【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会 【出版年】 2016年
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	日本医学英語検定試験3・4級読本(メデカルビュー社)
備考 (Other Information)	2018年6月17日(日)神戸(神戸大海事科学部)等で実施される医学英語検定は必須ではないが、講義前半は本試験4級を意識して講義するので受験することが推奨される(単位認定とは無関係)。締切り5月2日(写真必要), 受験料5000円, 結果は7月頃通知。 http://www.medicalview.co.jp/JASMEE/epemp/index_c34.shtml
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいるのでいつでも可